

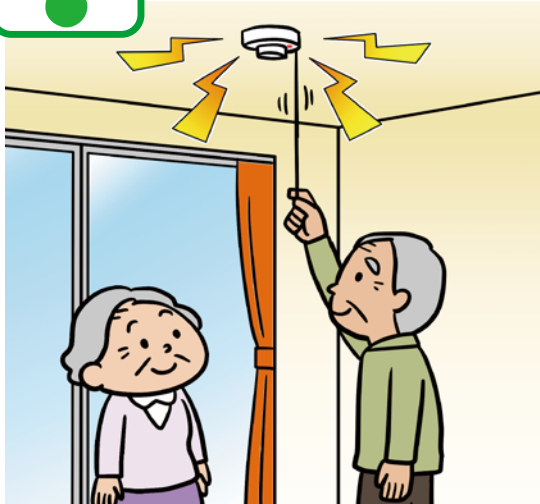
もしもの火災に備えましょう。

住宅火災の被害を防ぐため住宅用防災機器を備えましょう。



住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、知らせることで大切な命を守ります。



火災が起きた時は、いち早く気づくことがとても重要です。東京消防庁の管内(島しょ地域と稲城市を除く東京都全域)では火災予防条例により、全ての居室、台所、階段に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。定められた全ての場所へ設置しましょう。

住宅用火災警報器の性能維持のため、ホコリを取るなど掃除をしましょう。また、機器の寿命や故障、電池切れ等により、火災を感知できなくなることがありますので、本体のボタンを押す、ひもを引くなど定期的に作動確認を行いましょ。住宅用火災警報器には、火災発生時に1つの住宅用火災警報器が感知すると、設置された全ての部屋で鳴動する連動式のものや、光や振動で火災を知らせてくれる付加機能の付いたものがあります。詳しくは、お近くの消防署へお気軽にお問い合わせください。



消火器

ご家庭に消火器を備え、適切な使い方を身に付けましょう。

消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。

消火器には、共同住宅等で設置が義務付けられている消火器のほか、一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や片手でも使用できるスプレー式のエアゾール式簡易消火具があります。

いざという時に備えて、地域の防災訓練や消防署のイベントに参加して消火器の適切な使い方を身に付けましょう。

【消火器の種類】



消火器

住宅用消火器

エアゾール式簡易消火具

消火器を使用する時の注意点

- 焦らず落ち着いて、「火事だ!」と大きな声で周囲に知らせる。
- 炎が天井に達したら、すぐに避難する。
- 避難路は、常に確保しておく。

注意 ※消火器には使用期限が定められています。
※消防職員が住宅用防災機器を販売することはありません。悪質な訪問販売や点検にご注意ください。



防災製品

火災から身を守るため、身の回りの物を防災製品にしましょう!

寝具や着衣など身の回りの物への着火による事故や火災が多く発生しています。火災から身を守るため防災製品を使いましょう。

防災製品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。防災製品には寝具類、エプロン、アームカバーなどがあり、ホームセンター等で購入できます。

※防災製品について詳しくは最寄りの消防署にお問い合わせください。



防災製品ラベル



「防災製品ラベル」が安心の目印です。



布団による燃焼比較実験

防災製品

非防災製品



エプロンによる燃焼比較実験

防災製品

非防災製品